

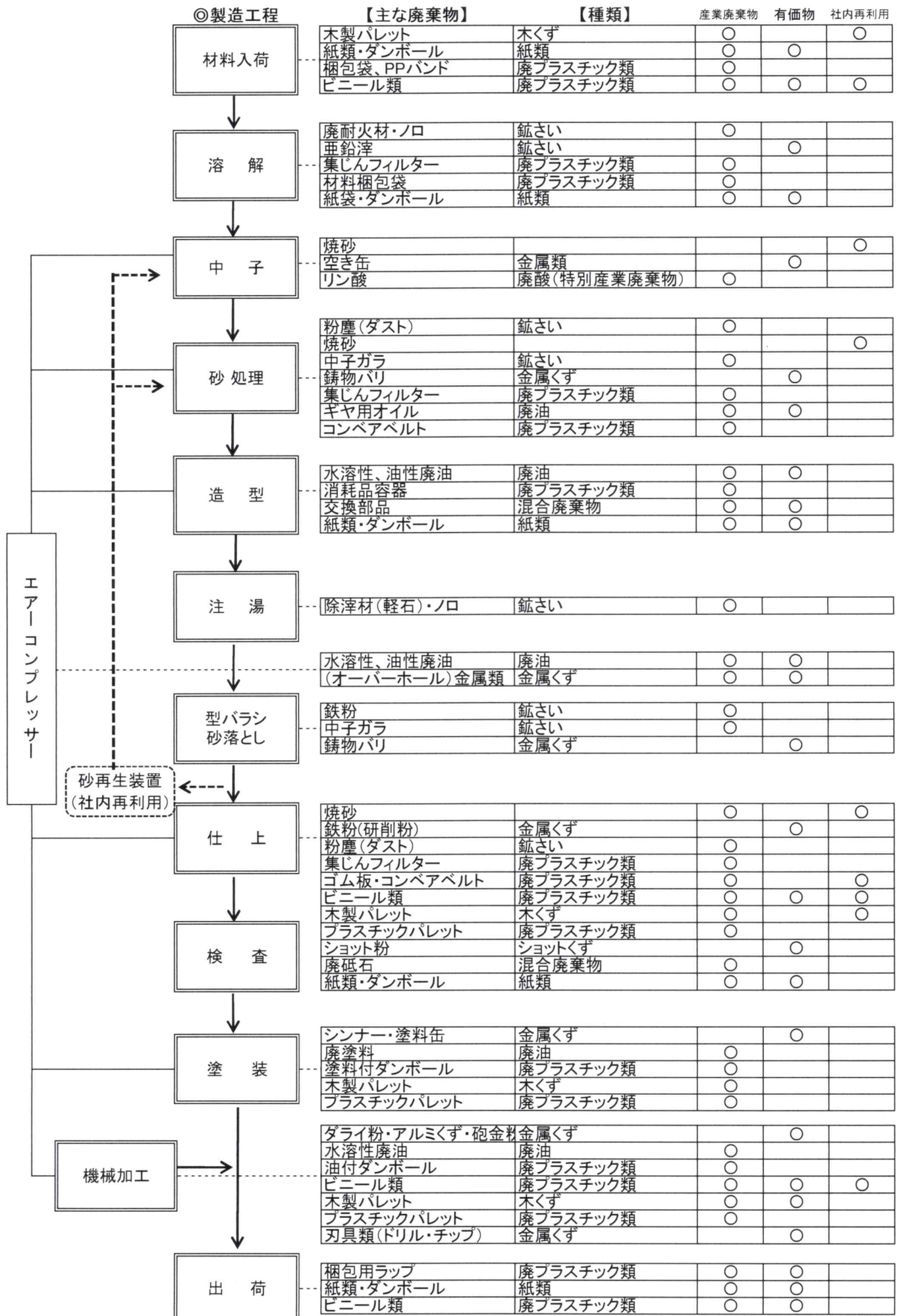
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

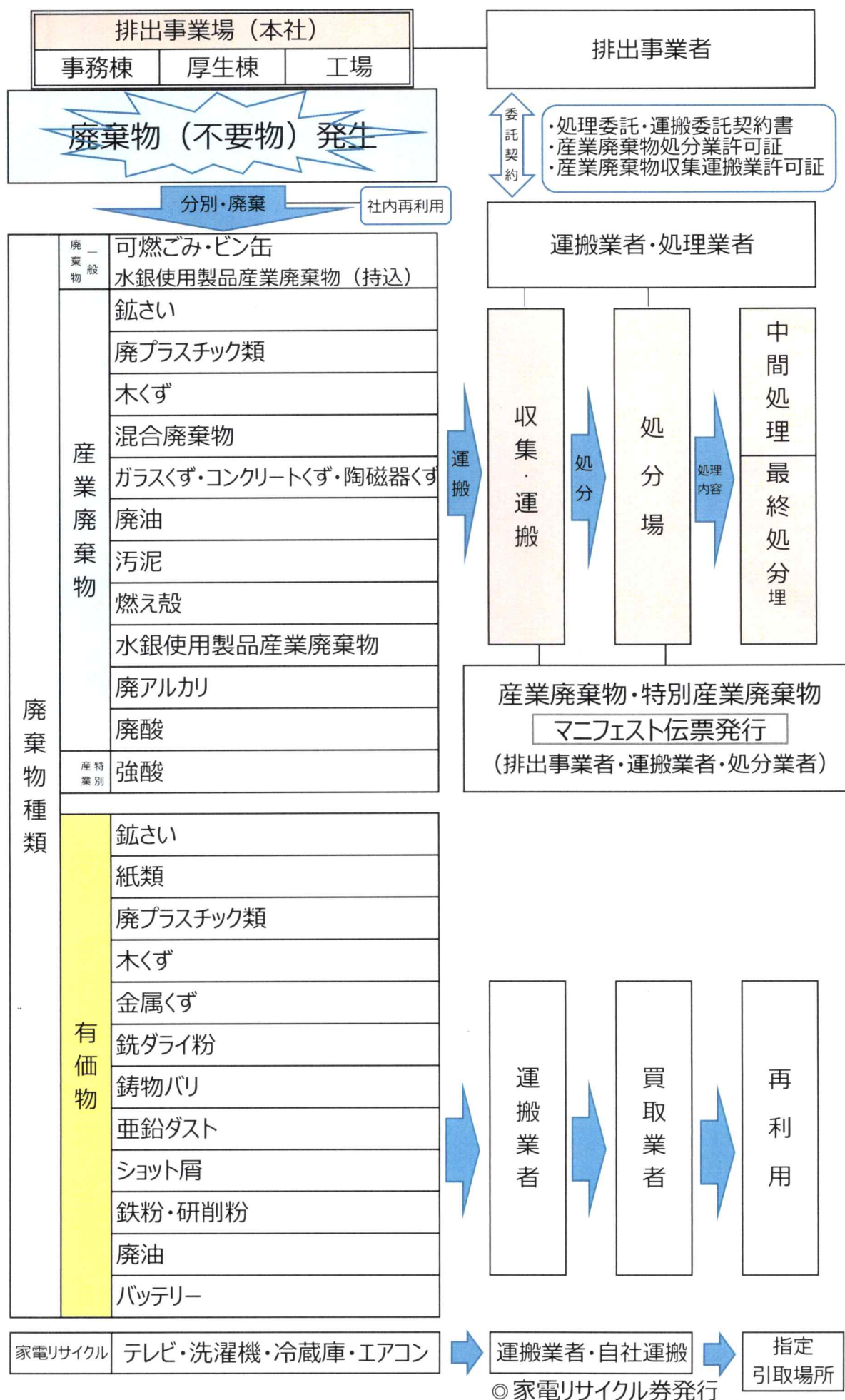
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6 年 6 月 26 日	
山形市長 佐藤 孝弘 殿	
提出者	
住 所 山形市立谷川二丁目1213番地の1	
氏 名 株式会社ハッピープロダクツ	
代表取締役 金田 和彦	
電話番号 023-686-4121	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ハッピープロダクツ
事業場の所在地	山形市立谷川二丁目1213番地の1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業（E31）
② 事業の規模	前年度の製品出荷額27億円
③ 従業員数	170名（全社）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1



（日本工業規格 A列4番）





産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2

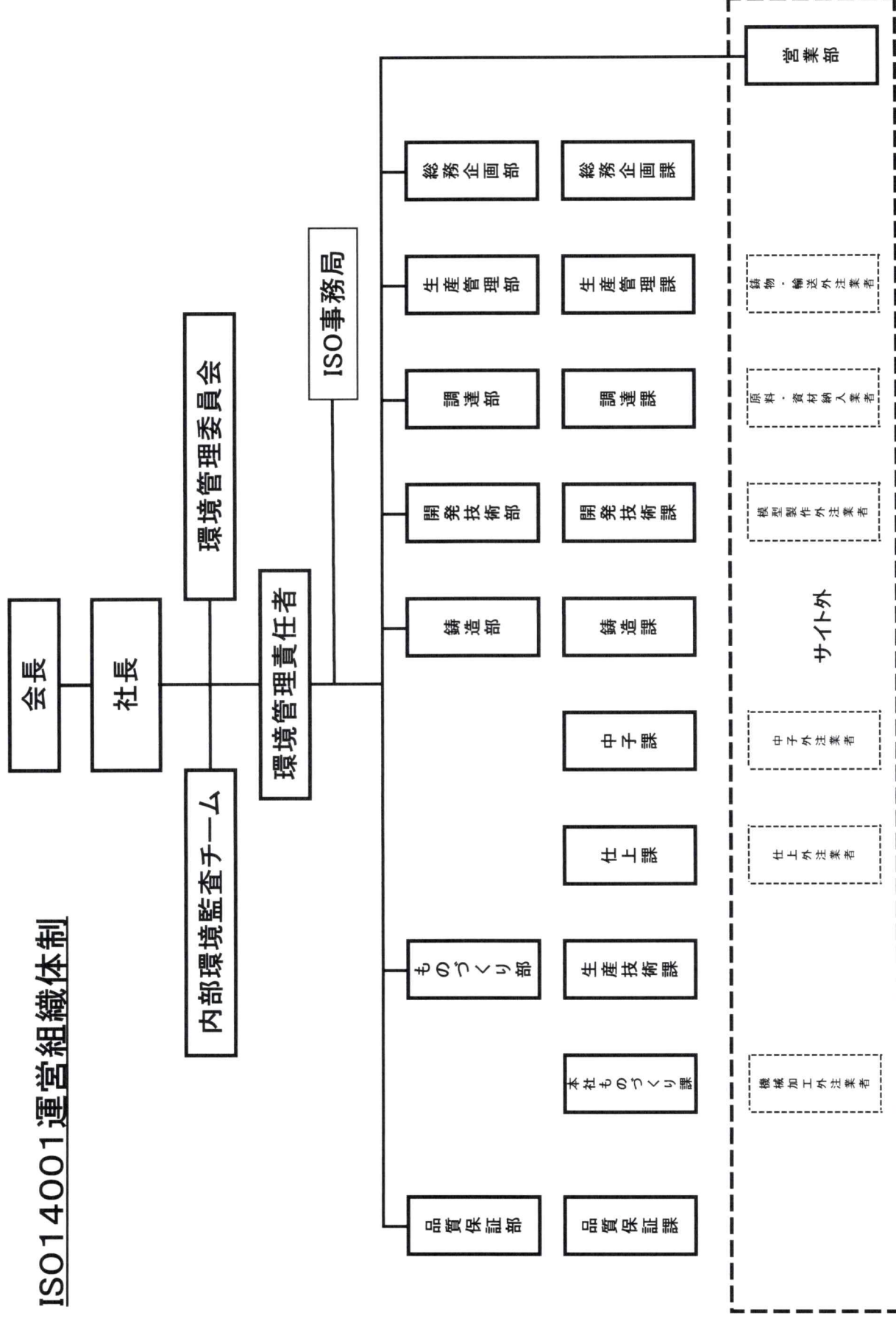
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・焼砂(廃砂)を自社砂再生装置で中間処理を行い再生利用(鉱さい) ・焼砂(廃砂)を生産砂処理ラインに直接再生利用(鉱さい) ・資材納入パレットを納入業者へ返却及び通いパレットの運用(木くず・廃プラ) ・使用済み透明袋の再利用(廃棄物入れ・多目的用として利用) ・廃棄物の有価物化1(ビニール類、紙類、アルミ缶、廃油、鋳物切粉) ・廃棄物の有価物化2(亜鉛滓、金属くず、鋳物バリ、研削粉、鉄粉) ・廃棄物の有価物化3(鉱さい/農業資材の販売業者に売却-商品化)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記項目を継続して実施していく		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各職場の廃棄物を種類毎分別 ・廃棄袋に部署名を記入(違反ゴミ等の特定) ・磁選ドラムで焼砂(廃砂)と金属くずに選別し再生利用及び有価物に分別 ・職場及び産業廃棄物置場を巡視(分別・違反確認) ・産業廃棄物写真及び有価物見本を作成・掲示(見える化)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記項目を継続して実施していく

ISO14001運営組織体制



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 焼砂 (廃砂) を自社砂再生装置で中間処理を行い再生利用 (鉦さい) ・ 焼砂 (廃砂) を生産砂処理ラインに直接再生利用 (鉦さい) ・ 廃油を冷却ハンガーチェーンの潤滑油として再生利用 (廃油)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記項目を継続して実施していく		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・優良認定業者への処分委託先優先 ・処分及び収集運搬委託契約書をファイリング・一覧表化で管理 ・産業廃棄物処分業及び収集運搬業許可証の有効期限の管理 ・マニフェスト伝票の交付から終了までの管理（種類別データ集約） ・廃棄物の性状分析を定期的の実施 ・処分業者へ自社運搬時、処分業者の現場を確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記項目を継続して実施していく		
※事務処理欄			

様式第二号の八 (第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（ 5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	排出量	3,088.040t	5.283t	9.982t	0.334t	1.160t	50.035t	0.090t	3,154.924t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	排出量	3,026.279t	5.125t	9.683t	0.324t	1.125t	48.534t	0.087t	3,091.157t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（ 5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	803.100t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.020t	0.000t	803.120t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	803.100t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.020t	0.000t	803.120t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（ 5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	【目標】								

様式第二号の八 (第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（ 5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（ 5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	全処理委託量	1,601.840t	5.283t	9.982t	0.334t	1.160t	50.015t	0.060t	1,668.674t
	優良認定処理業者への処理委託量	267.500t	5.283t	9.982t	0.334t	0.000t	0.000t	0.090t	283.189t
	再生利用業者への処理委託量	1,048.980t	0.144t	9.842t	0.169t	0.000t	0.000t	0.000t	1,059.135t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	4.930t	0.140t	0.000t	0.000t	0.000t	0.090t	5.160t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	紙くず	合計
	全処理委託量	1,569.803t	5.125t	9.683t	0.324t	1.125t	48.515t	0.058t	1,634.633t
	優良認定処理業者への処理委託量	262.150t	5.125t	9.683t	0.324t	0.000t	0.000t	0.087t	277.369t
	再生利用業者への処理委託量	1,028.000t	0.140t	9.547t	0.164t	0.000t	0.000t	0.000t	1,037.851t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	4.782t	0.136t	0.000t	0.000t	0.000t	0.087t	5.005t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。